

2021年 第3回日本脊椎脊髄病学会・日本側弯症学会合同社会保険等システム検討委員会 議事録

日 時：7月14日（水）18：00～19：00

場 所：Web Zoom

参加

日本脊椎脊髄病学会：大鳥精司（担当理事） / 遠藤健司（委員長） / 新井嘉容 / 酒井義人 / 鈴木秀和 / 高野裕一 / 辻 崇 / 平井高志 / 平泉 裕 / 牧 聡（ビデオ参加） / 宮城正行 / 渡辺航太 / ◇青田洋一 / ◇山縣正庸

側弯症学会：青田洋一、宮城正行（委員長）、井上 玄、酒井大輔、谷口優樹、藤田順之

欠席：種市 洋（担当理事）、八木 満

外保連担当

JSSR 手術：遠藤、渡邊、実務：鈴木、牧、検査：高野、平井、処置：委員長平泉、鈴木、平井、麻酔：平井、広報：高野

検査画像診断WG：遠藤、検査医療材料WG：鈴木

側弯症 手術：藤田、八木、実務：井上、宮城、処置：酒井大輔、検査：酒井大輔、麻酔：宮城

議事項目

- 1) 2022年度要望書類の提出結果報告

新規

- ① 自己骨髄由来間葉系幹細胞移植術（酒井大輔先生）
- ② 立位全身骨撮影（EOS）（側弯症学会、宮城先生）
- ③ 立位全身骨撮影（術前精密）（EOS）（側弯症学会、宮城先生）

改正

- ① 人工椎間板技術料改定（吉井先生）
- ② 椎間板内酵素注入療法技術料改定（平井先生）
- ③ 画像等手術支援加算 患者適合型手術支援ガイドに脊椎手術を追加（遠藤先生）
- ④ K931 超音波凝固切開装置等加算の脊椎前方手術への適応拡大（リガシュア、ハーモニックなど）（牧先生）
- ⑤ 脊椎側弯症手術の注に後弯症矯正の追加（側弯症学会、八木先生）
- ⑥ 上位頸椎加算（側弯症学会、渡邊先生）
- ⑦ 内視鏡下椎弓形成術複数椎間加算（高野先生）
- ⑧ 通則14の追加（内視鏡下椎弓形成）（高野先生）

廃止

① (K117-3 椎間板ヘルニア徒手整復術：日整会から廃止要望)

2) フロシールアンケート報告 (牧先生、ビデオ)

→査定は全査定か部分査定か。中央ブロックでの査定が約半数なので、高点数の big surgery が多かったと思われる

3) 椎間板内酵素注入療法技術料改定の費用対効果のエビデンス作成 (平井先生)

→論文が必要。施設候補を理事会で検討していただく。JSSR のプロジェクトとして進めるか。

4) 厚生労働省ヒアリング

JSSR:人工椎間板技術料改定、椎間板内酵素注入療法技術料改定
側弯症学会:EOS, 脊椎側弯症手術の注に後弯症矯正の追加
JOA:放射線被曝加算、寛骨臼移動術

4) 日本脊髄外科学会との連絡 (遠藤)

JSSR-NSJ との 2024 年度申請に向けた行動計画

JSSR・NSJ 双方の代表委員 (5 名程度) でのワーキング委員会：大鳥先生、山縣先生、平泉先生、遠藤先生、宮城先生

2021 年 12 月までに各学会でのヒアリングを実施

2022 年 1 月に第 2 回合同委員会を予定

(現時点では 2022 年 1 月 28 日 (金) 18 時 Web 委員会を予定)

JSSR・NSJ 双方の申請要望案を調整し、情報共有する。

5) 今後の活動予定

→年末の評議員アンケートに向けて、まず委員間で課題をまとめていく

・次回委員会は 9/15(水) 18:00 から予定